

仙台市に本社を置く(株)久保田ホールディングスは、商業施設開発やオフィスビル、宿泊施設の建設・運営の他、介護、エネルギー事業、駐車場運営など、6社体制でさまざまな事業を展開している。2024年度に着手した新事業などについて、久保田定代表取締役社長に話を聞いた。

——24年度に着手した新事業についてお聞かせください。

久保田 今年度の大型事業は、仙台空港線的美田園駅(名取市)前に複合商業施設を建設するプロジェクトが動き出したことです。

多角的に事業を展開し、まちづくり尽力に尽力したい



(株)久保田ホールディングス
代表取締役社長
久保田 定 氏

くぼた・さだむ 1958年生まれ。仙台市出身。81年東北学院大学経済学部卒業後、(株)西洋環境開発入社。86年(株)久保田本店入社。その後代表取締役社長に就任。現在に至る。趣味はゴルフ。

駅北側の約2万3000平方メートル敷地にA棟からG棟まで、合計7棟の建物を建設し、ショッピングモールを形成するものです。総延床面積の合計は約8945平方メートル(店舗面積の合計は約6650平方メートル)を予定しています。施設の名称は「オルフィーカ美田園」で、フィンランド語のオルカ(元気)とフィーカ(休息)からつけました(造語)。

——出店企業は。

久保田 問い合わせもあり、順次検討しているところですが、8月段階では、100円ショップのダイソーやタリーズコーヒーの出

店が決定しています。他にもスーパーや物販、飲食店などの出店を見込んでいます。オープンは25年6月の予定です。

当社としては、構想段階から開発まで関わるのは珍しく、地元企業としても久々の大型案件になりますし、駅前の開発ということで、まちづくりとしても力を入れていきたいと思っています。

——資金の調達はどのように。久保田 シンジケート・ローンで調達しました。今回は七十七銀行さんが主幹事(アレランジャー)となつて金融機関を募り、シンジケート団を組成しました。参加した金融機関は、七十七銀行の他、秋田銀行、常陽銀行、東邦銀行、杜の都信用金庫、山形銀行で、融資金額は36・5億円です。このような融資体制での開発は、地元でも数少ないと思います。

——開発によって生活利便性が向上しますね。久保田 弊社でも美田園にファミリータイプの物件を所有していますが、今でも空き待ちの状態です。住宅地としての価値はさ

らに高まると思います。

——他の事業はどうですか。

久保田 昨年から東京都内や札幌市内で建設していたオフィスビルの売却などがあり、グループ全体の年商は100億円を超えました。札幌では既に新しい物件に投資していますし、東京でも良い話があればと思っています。また、沖縄県北谷町の滞在型宿泊施設(戸建て)の運営も好調で、新規物件も検討中です。

——エネルギー事業は。

久保田 グループで太陽光と風力発電施設を23施設運営しています。最近では老朽化した太陽光発電所の運営を相談されることがあり、施設を買い取ってリノベーションし、運用する事業も進めています。

——事業展開の秘訣は。

久保田 地元企業とのコミュニケーションを密にし、新しい物件や情報をいかに早く見つけるかが重要です。海外への投資も視野に、今後も多角的に事業を展開しながら、地元のまちづくりに注力していきたいと思っています。

外壁・屋根塗装なら(株)サンネックス

安心・安全な

022(396)1016

見積無料

